

# 実技 30分



## 丸のこ等取扱い作業従事者教育 安全衛生教育カリキュラム

平成 22 年 7 月 14 日付基安発 0714 号

実技実施日 年 月 日

実施者氏名

### 準備（保護具）



ヘルメット



マスク



保護メガネ



耳栓



保護手袋



すね当て



安全靴

必要に応じて以下を準備



チャップス

### 準備（機械・工具）

#### 丸のこの準備

丸のこについては、専用ケースがついていないことが多くあります。のこ刃をむき出しのまま持ち歩くと、作業員本人だけでなく、周りの作業員までけがをさせる恐れがあります。正しく、安全に持ち運ぶよう心がけて下さい。

#### バッテリーの準備（蓄電式）

予備も含めて、十分に充電を行っておくことで、中断することなく作業を行えます。

#### 目立て機

目立て機は、刈刃を取り付けるのこ受け台、電動モーターで回転させる円板の砥石等から構成されています。

※砥石の取替え及び試運転を行う際は、「自由研削砥石取扱作業従事者特別教育」が必要です。

### (1) 丸のこ等及びのこ歯の点検

#### 基本

丸のこを安全に効率よく使用するためには、定期的に点検・整備を行うことが重要です。日常の作業開始前点検はもちろんですが、毎週、毎月の点検を行い常に最良の状態を維持することが大切です。

- (1)現場で点検、整備を行うときは、安全な平坦地で行います。
- (2)整備は作業を指揮する者を定めて、その指示にしたがい進めます。
- (3)コンセント（電池パック）は必ず取り外し、丸のこが冷えた状態で行います。
- (4)点検、整備を行う作業場所には、関係者以外の立入りを禁止します。

#### 【丸のこの点検】

アースプラグ・アースクリップは正常か（二重絶縁を除く）

手元スイッチの作動は良いか

電源コードに傷、摩耗、変形等がないか

安全カバーに損傷はないか。円滑に作動するか

ブレーキは正常作動するか

#### 【のこ歯の点検】

のこ歯のこぼれ、き裂、変形等はないか

回転中の異常振動、異常音の有無

のこ歯の適合性の確認

180×1.8×20×36P といった表記の場合、

外径×刃厚×内径×刃数 を表しています。

### (2) 整備の方法

#### 基本

のこ歯の交換

#### 方法

- ① 切込み調整用レバーをゆるめ、切込み深さを最大にします。ベースを上下させて調整し、切込み調整用レバーを締付けてベースを固定します。
- ② ロックレバーを押し込みながら、六角棒スパナで、のこ刃軸を固定します。ボルトを反時計方向に回し、のこ刃の回転を止め、のこ刃軸を固定します。
- ③ 六角棒スパナを回し、ボルトとワッシャをはずします。保護カバーのつまみを持って、保護カバーをソーカバーの中に引き込み、のこ刃を取りはずします。

#### 目立て

正しく目立てされたのこ刃を使用する必要があります。作業能率が向上、作業員の疲労低減、振動障害の予防になります。

#### 方法

目立て作業では、削る工程で刃が高温になると強度が低下して破損（チップ飛び）の原因となり危険です。特にディスクグラインダー等の電動工具を使用する時は、刃が発熱しないよう注意し少しずつ削ります。

#### カーボンブラシ

カーボンブラシの状態、型番チェックすることは非常に重要です。カーボンブラシに不具合が生じると電気が流れにくくなり、丸のこが思うように動かなくなります。